



ウガンダのムベンデ県にてレモングラスの栽培拡大と環境教育による環境保全事業

活動 2.5 環境保全に関する規制遵守、課題についての評価ミーティング

日時と場所

	日時	場所
1	2018年6月22日	ンカンワカトリックホール
2	2018年9月28日	カボワトレーニングセンター
3	2018年12月15日	ムングングル
4	2019年3月10日	セムトトレーニングセンター

導入

地球環境基金(JFGE)と Global Bridge Network (GBN)からの支援を受け、SORAK はプロジェクトの進捗状況や問題点、また事前に合意した環境保全活動の状況、そして環境保全に関する法律や規制とその施行状況について評価を行うため、4 半期毎ミーティング（計 4 回）を実施した。

活動の目的

四半期毎に行う本ミーティングの目的は、下記について確認する事である。

- プロジェクトの成果
- 課題の明確化
- 課題解決のための戦略考案
- 全てのコミュニティ・準郡、郡の関係者が本プロジェクトに参加し、適切に実施している事
- 地球環境基金(JFGE)からの支援が終了した後も活動が持続されるように、コミュニティと地域政府が責任をもって活動を続けるようにする事

参加者

ミーティングの参加者は、プロジェクトの関係者から選ばれた。教区、準郡、郡を代表して、学校や女性グループ、若者達の代表者や村のリーダーが参加した。男女比は下記の通りである。

	場所	男性	女性	合計
1	ンカンワカトリックホール	25	15	40
2	カボワトレーニングセンター	21	19	40
3	ムングングル	20	20	40
4	セムトトレーニングセンター	21	19	40

ファシリテーター

4回のミーティングは下記の SORAK メンバーが主導となり実施した。

1. ムハンマドケイユン (SORAK 代表)
2. マーティンマファビ (SORAK 財務責任者)
3. ハディジャ・ナキルウタ (プログラムマネージャー)

活動内容

ミーティングでは下記の分野と懸念事項について集中的に議論した。

1. 本プロジェクトの成果報告として、対象となった人数や学校の具体的な数など、それぞれの地域での活動進捗について情報を共有した。
2. 課題の明確化とその解決策を提案した。
SORAK メンバーは、プロジェクトが実施された地域での以下を含む成果について関係者全員に発表した。対象となった学校数 (8 校)、子どもの人数 (3800 名)、植樹された樹木、レモングラス栽培に参加した女性 (81 名) と若者 (80 名)、栽培地のエーカー数、湿地のモニタリング活動など

以下の課題について共有した。

1. 乾季が長く続いたため、レモングラスを植えるタイミングに影響が出た。またレモングラスの栽培地では、樹木によって土壌の水分が奪われてしまった。
2. 湿地の劣化と、湿地への侵入の取り締まりが徹底されていない。
3. 学校の敷地に植わっている樹木や苗木に、家畜による被害があった。
4. 樹木にシロアリの被害が出る学校もあった。
5. レモングラスのエッセンシャルオイルを販売する市場へのアクセスが制限されている。

上記の課題に対する解決策

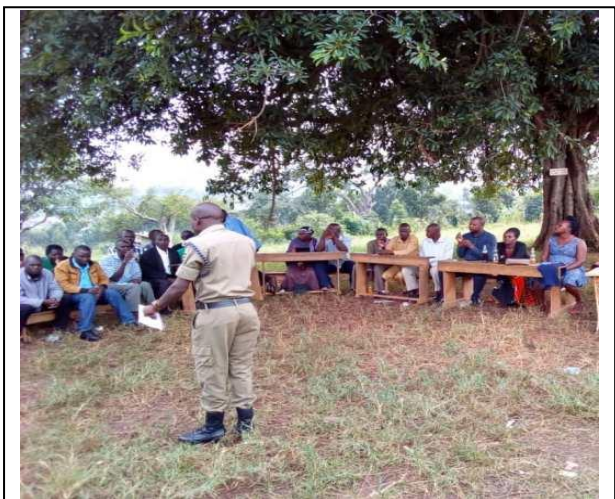
1. 雨季が始まるのを待ち、毎年 8 月に始まる小雨季に確実に樹木やレモングラスの植樹を行う。
2. 地域の指導者たちをはじめとする本会合の参加者が、地域住民による湿地侵入をしっかりと防ぐようにと、警察官が呼びかけた。
3. 警察や他の法執行者が、耕作地を求めた湿地破壊や木材・木炭のための違法な伐採など、環境破壊行為を行う者を逮捕する。
4. 学校の敷地内の木々全てに囲いを設置する事で、ヤギやヒツジなどの家畜に食べられないようにする。
5. 穀物や学校の木々に被害が出ないように、フェンスなどを使い家畜が放牧できないようにする事を、地域の指導者から住民に周知徹底する。
6. シロアリ被害に関しては、シロアリに強い種類の木を植えて対策をする。



環境保護の大切さを、ナビングーラ準郡の村の指導者が説明している。



総務責任者が、環境保護の必要性について発表している。



警察官が、環境保護に関する法律について地域コミュニティに説明している。



キバリングガ準郡でのミーティングで、SORAK 代表が成果報告をしている。

成果

1. 環境保護に関する法律や規制を施行する事を、地域の指導者たちが合意した。
2. 学校の責任者達は、植樹を重要な活動として位置付ける事を決め、特に果樹を植える事で学校を環境に良い場所にする事に合意した。
3. 近日中に環境破壊行為を行う者を逮捕する取り締まりが行われる事を、地域の指導者から住民に伝えるようにと、警察が厳しく警告した。
4. 環境保護のため、活動評価のミーティングや、植樹・レモングラス栽培の資材提供など、SORAK からのサポートを継続してほしいと地域の指導者から要請された。
5. 郡の責任者と警察が、環境保全に関する規制を印刷しコミュニティセンターに掲示する事を約束した。
6. 警察は、環境保全に関する違法行為を取り締まり、違反者には罰則を科すと約束した。

主な課題

本活動の課題としては、下記の問題点が挙げられる。

1. 特に地域の指導者たちが、ミーティング開始時刻に到着しない。遅刻者の到着を待ってからミーティングを始めたため、開始及び終了時刻が遅くなった。SORAK メンバーや他ミーティング参加者にとって迷惑な事であった。

提案

全4回のミーティングを通して、下記の提案があった。

1. 警察と地域政府が、環境保全に関する法律や規制の施行を徹底すること。
2. SORAK がこれまでに実施してきたプロジェクトと同内容の活動を、より多くの学校やコミュニティに展開すること。
3. 全ての学校とコミュニティで、果樹などの植樹を義務化すること。
4. 準郡と郡が、環境保全に関する予算を増やし、中でも湿地被害の監視を強化できるようにすること。

結論

四半期毎に活動評価を行う本ミーティングは、プロジェクトの進捗を確認し方向付ける良い機会となった。また、地域の指導者、女性、若者、準郡と郡のスタッフに進捗状況を共有する事で、継続的に活動に参加させることができた。これは、参加者が良い関係性を構築している証拠であり、プロジェクト終了後も主体的に環境保全に取り組んでいく事に繋がる。